

オープンが「第38回ものづくりワールド東京」に出展  
新製品『OPEN Vision Core』を発表  
～製造現場の目視判断をAI活用で自動化・効率化～

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、2026年7月1日（水）～3日（金）に開催される「第38回ものづくりワールド東京」に出展いたします。

また本展示会で、新製品『OPEN Vision Core（オープンビジョンコア）』を発表いたします。



「第38回ものづくりワールド東京」は、RX Japan 合同会社が主催する製造業ユーザーの課題解決に貢献する製品・技術が一堂に集結する展示会です。開発・製造事例、ロボット・自動化、生成AI活用・DX推進、フィジカルAI、保全DXなどをテーマにした講演のほか、13の構成展を開催し、開発・製造期間の短縮、DX・IT化の推進、コストダウン、脱炭素、工場の省エネ・自動化等のアイデアを見つけられる機会となっています。

オープンは「計測・検査・センサ展」のエリアにブースを設け、ONE AI株式会社（韓国）の協力を実現した新製品『OPEN Vision Core』を初展示します。

ONE AI株式会社のペク代表は、2025年までインテルでアジア統括チーム長を歴任しており、『OPEN Vision Core』はインテル社が提供するエッジAI技術をプラットフォーム（基盤）として採用しています。

## OPEN VISION CORE

### ■OPEN Vision Core について

OPEN Vision Core は、製造現場における“目視判断”をAI活用により支援・強化する製品です。工場内の様子（画像）をAIが確認し、外観検査・作業ミス検知・数量確認などの幅広い業務を効率化することが可能です。

- 開発背景

製造業が抱える以下の課題解決を目指し、現場で実際に活用できるAI製品として開発しました。

- 人材不足
- 熟練技術者の高齢化
- 生産性向上
- 品質維持
- AI およびデジタル技術活用の障壁となっている以下4点  
現場設備との接続性／閉域環境への対応／リアルタイム処理／システム連携の複雑さ

## ● 製品特長

1. 精度・誤検知  
現場データを使用した追加学習・チューニングを内製化で継続できる独自の MLOps (AI の継続的な育成・運用システム) を提供することにより、確認業務の精度を実用可能なレベルまで引き上げます。
2. コスト  
脱 GPU による圧倒的低コストを実現。OpenVINO を活用し、既存の Intel PC (CPU/iGPU) で高速推論を実現することで初期投資を抑え、トータルコストの最適化に寄与します。
3. セキュリティ・通信  
オンプレミス構成でデータを外部に出すことなく、オフライン動作により通信制約下でも安定稼働が可能です。
4. 運用定着  
オープンが現場目線の運用設計・教育と内製化を伴走支援することにより、現場主導の継続運用定着化を目指します。

## ● 適用業務例

| 業務項目          | 対応内容                   |
|---------------|------------------------|
| 目視検査          | 目視による確認・判定業務を AI がサポート |
| NG 品再チェック候補表示 | 再確認が必要な対象を候補として提示      |
| バーコード・OCR 確認  | ラベル・文字情報の読み取りや照合を支援    |
| 棚入れ間違い防止      | 品番・配置などの確認を支援          |
| 手挿入作業ミス検知     | 作業手順や部品状態の確認を支援        |
| リール数・残数把握     | 部材・リールの数量確認を支援         |
| 設備・環境モニタリング   | 設備状態や環境情報の確認を支援        |
| 故障予兆・ライン停止削減  | 異常兆候の把握や停止リスク低減を支援     |

## ● 期待できる導入効果

1. 業務品質の向上  
AI による判定で、目視対応時に生じていた判断のばらつきを抑え、業務の精度を安定化します。

2. セキュアな AI 活用  
オンプレミス運用のため、閉域環境でも AI 活用が可能になります。
3. コストを抑えた横展開  
保守運用コストを抑えた製品のため、複数業務への横展開が期待できます。
4. 現場への定着  
ユーザー企業個々の業務フローに合わせた運用設計、さらには導入後の活用フェーズまで継続的に伴走支援することで、PoC だけで終わらない製品活用を目指します。

## ■出展概要

- ・展示会名称：第 38 回 ものづくりワールド東京
- ・会 期：2026 年 7 月 1 日（水）～3 日（金）10:00～17:00
- ・会 場：東京ビッグサイト
- ・主 催：RX Japan 合同会社
- ・開催概要：<https://www.manufacturing-world.jp/tokyo/ja-jp.html>

## ▼オープンの展示ブースについて

- ・小間番号：S3-27（南 1 ホール）
- ・展示製品・サービス：OPEN Vision Core、OroSee

## ■ OroSee（オロシー）とは



OroSee は、業務の整理・可視化から改善ターゲットの特定までを自動化する AI エージェントサービスです。従来、膨大な時間と人的リソースを要したヒアリング作業を AI が代替し、データドリブンかつ客観的な業務分析を通じて、短期間・低コストでの業務改善を支援します。

詳細はサービスページ：<https://open.co.jp/orosee/>をご覧ください。

## 【会社概要】

### ■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・設 立：2013 年 7 月
- ・代 表 者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之
- ・資 本 金：3,000 万円
- ・事 業 内 容：スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業

※Intel、インテル、OpenVINO は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。